



真宗大谷派 東本願寺 真宗会館

新たな
人生のスタート

帰敬式 ききょうしき



帰敬式とは、
「仏」「法」「僧」の
三宝に帰依きえし
仏弟子となり、
生前ほうみょうに法名を
いただく儀式です。
法名の授与にあたっては、
頭にかみそりをあてる
「剃刀ていとうの儀（おかみそり）」
を行います。

2025. 10 / 1 (水)

執行者：真宗大谷派 おおたに ひろゆき かぎやく 大谷 浩之 鍵役
法 話：あらい よしお 新井 義雄 氏（東京5組 高德寺住職）



会場：東本願寺真宗会館
東京都練馬区谷原 1-3-7

主催：真宗大谷派 東京教区
問い合わせ：東本願寺 真宗会館 東京教務所（担当：洲崎・掛川）
Tel.03-5393-0810 Fax.03-5393-0814

き え さんぼう 帰依三宝

帰敬式は、釈尊が在家信者に仏・法・僧の三宝に帰依する「三帰」を受け、在家の仏弟子となったことがはじまりとされています。「仏」とは、苦しみ悩む人間を救おうとする南無阿弥陀仏の法に目覚めた「人（釈尊・諸仏）」であり、また南無阿弥陀仏という「ことば」にまでなったのが「法」であります。そして「僧」とは僧伽という意味であり、南無阿弥陀仏によって結ばれた人々の集まりということです。

な の 仏弟子の名告り

帰敬式を受式しますと『法名』を授かりますが、それは南無阿弥陀仏の教えに導かれ、仏道を歩む者となったという自身の名告りであり、決して死後の名前をいただくということではありません。浄土真宗の宗祖 親鸞聖人は、自らを「釋 親鸞」と名告られました。それ以来、真宗の法名はお釈迦様の弟子である証しとして「釋」の字を用います。そこには世間の名前や暮らしの様々な“ちがひ”を越えて、平等な関係が既に開かれていることがあらわされています。共にお念仏の道を歩む仏弟子として、みなさまの帰敬式受式を心よりお待ち申し上げます。



帰敬式当日の流れ

9:30	受付開始
10:30	オリエンテーション
10:50	開式の辞
10:55	剃刀の儀（おかみそり）
12:00	お斎（昼食）
13:20	記念写真撮影
14:00	法話
15:30	閉会式

※受式者数により、日程が変更となる場合があります。

※剃刀の儀は、会場内の舞台上に上がり、椅子に座った状態でお受け頂きます。車いす等をご利用の方は、当日スタッフがお手伝い致しますので、その旨、別紙申込書にご記入ください。

受式冥加金：20,000 円（20歳以下は15,000 円）

※本山帰敬式冥加金・記念品代・お斎代（付添含む）・記念写真代等を含みます。

※受式冥加金は当日受付にてお納めください。

申込方法

別紙申込書にご記入・ご押印のうえ、申込書記載の宛先まで必ず郵送にてお申込みください。締切：2025 年 8 月 22 日（金）